

日本介護医療院協会「2023年度調査」集計結果

実施：令和5（2023）年6月

対象：介護医療院 762 施設（会員 300 施設および非会員 462 施設）

回答：184 施設（会員 131 施設、非会員 53 施設）

回答率：24.1%（療養数計 12,489 床）

1. 概要

(1) 療養床総数

	全体	I 型	II 型
回答施設数	184	134	50
療養床総数（床）	12,489	10,009	2,480
最大（床）	369	369	113
最小（床）	8	8	9
平均（床）	67.9	74.7	49.6

(2) 入所者数と稼働率 ※2023年7月1日24時現在の入所者数÷療養床総数×100

	全体	I 型	II 型
回答施設数	176	131	45
入所者数（人）	11,005	8,914	2,091
療養床数（床）	11,706	9,428	2,278
稼働率（%）	94.0	94.5	91.8

(3) 開設場所（n=182 施設）

（施設数）

	全体	I 型	II 型
回答施設数	182	133	49
1. 病院建物内併設	143	116	27
2. 病院敷地内併設	18	10	8
3. 独立	12	4	8
4. その他	9	3	6

比率（%）

	全体	I 型	II 型
回答施設数	182	133	49
1. 病院建物内併設	78.6	87.2	55.1
2. 病院敷地内併設	9.9	7.5	16.3
3. 独立	6.6	3.0	16.3
4. その他	4.9	2.3	12.2

## (4) 介護医療院の療養床について、移行する前の施設種別 (n=178 施設)

(病床数)

	全体	I 型	II 型
回答病床数	13,260	10,537	2,723
1. 介護療養病床	8,628	8,229	399
2. 介護療養診療所	0	0	0
3. 医療療養病棟 1	1,596	1,029	567
4. 医療療養病棟 2	620	439	181
5. 医療療養病棟 経過措置	105	60	45
6. 医療療養診療所	28	19	9
7. 老人性認知症疾患	0	0	0
8. 介護療養型老人保健施設	1,258	356	902
9. 一般病床から (介護・医療療養病床以外の病床から)	12	5	7
10. その他のベッドから (従来型老人保健施設等から)	390	40	350
11. 新設 (新規開設)	229	111	118
12. 上記以外	394	249	145

比率 (%)

	全体	I 型	II 型
回答病床数	13,260	10,537	2,723
1. 介護療養病床	65.1	78.1	14.7
2. 介護療養診療所	0.0	0.0	0.0
3. 医療療養病棟 1	12.0	9.8	20.8
4. 医療療養病棟 2	4.7	4.2	6.6
5. 医療療養病棟 経過措置	0.8	0.6	1.7
6. 医療療養診療所	0.2	0.2	0.3
7. 老人性認知症疾患	0.0	0.0	0.0
8. 介護療養型老人保健施設	9.5	3.4	33.1
9. 一般病床から (介護・医療療養病床以外の病床から)	0.1	0.0	0.3
10. その他のベッドから (従来型老人保健施設等から)	2.9	0.4	12.9
11. 新設 (新規開設)	1.7	1.1	4.3
12. 上記以外	3.0	2.4	5.3

2. 新入所者数と入所経路（2023年4月～6月までの3か月間）（n=178施設）

※回復期リハ、地域包括ケア、急性期等（加算含む）の「在宅復帰率」が要件化されている病棟は、「在宅復帰系病棟」としてまとめている。（※「在宅復帰機能強化加算」を算定している療養病棟は含めない）

（新入所者数）

	全体	I型	II型
2023年4月から6月までの3か月間における新入所者総数	2,388	1,944	444
1. 自宅から	95	79	16
2. 自宅系高齢者施設（有料老人ホーム・特養等）から	67	54	13
3. 老人保健施設から	81	58	23
4. 自院の在宅復帰系病棟から	579	448	131
5. 自院の上記以外の病棟から	555	457	98
6. 他院の在宅復帰系の病棟から	412	342	70
7. 他院の上記以外の病棟から	591	499	92
8. その他	8	7	1

比率（%）

	全体	I型	II型
2023年4月から6月までの3か月間における新入所者総数	2,415	1,955	460
1. 自宅から	4.0	4.1	3.6
2. 自宅系高齢者施設（有料老人ホーム・特養等）から	2.8	2.8	2.9
3. 老人保健施設から	3.4	3.0	5.2
4. 自院の在宅復帰系病棟から	24.2	23.0	29.5
5. 自院の上記以外の病棟から	23.2	23.5	22.1
6. 他院の在宅復帰系の病棟から	17.3	17.6	15.8
7. 他院の上記以外の病棟から	24.7	25.7	20.7
8. その他	0.3	0.4	0.2

3. 退所者数と退所先（2023年4月～6月までの3か月間）（n=174施設）

※回復期リハ、地域包括ケア、急性期の病棟は、「在宅復帰系」としてまとめている。

（退所者数）

	全体	I型	II型	退所先		
				病院建物内併設 病院敷地内併設	独立	その他
2023年4月から6月までの3か月間における退所者総数	2,312	1,861	451	294	120	37
1. 自宅へ	58	40	18	15	2	1
2. 自宅系高齢者施設(有料老人ホーム・特養等)へ	120	85	35	30	4	1
3. 老人保健施設へ	110	86	24	21	2	1
4. 自院の在宅復帰系病棟へ	127	82	45	25	13	7
5. 自院の上記以外の病棟へ	345	286	59	58	0	1
6. 他院の在宅復帰系病棟へ	53	30	23	5	15	3
7. 他院の上記以外の病棟へ	204	126	78	19	55	4
8. 死亡退所	1,289	1,120	169	121	29	19
9. その他	6	6	0	0	0	0

比率(%)

	全体	I型	II型	退所先		
				病院建物内併設 病院敷地内併設	独立	その他
2023年4月から6月までの3か月間における退所者総数	2,312	1,861	451	294	120	37
1. 自宅へ	2.5	2.1	4.0	5.1	1.7	2.7
2. 自宅系高齢者施設(有料老人ホーム・特養等)へ	5.2	4.6	7.8	10.2	3.3	2.7
3. 老人保健施設へ	4.8	4.6	5.3	7.1	1.7	2.7
4. 自院の在宅復帰系病棟へ	5.5	4.4	10.0	8.5	10.8	18.9
5. 自院の上記以外の病棟へ	14.9	15.4	13.1	19.7	0.0	2.7
6. 他院の在宅復帰系病棟へ	2.3	1.6	5.1	1.7	12.5	8.1
7. 他院の上記以外の病棟へ	8.8	6.8	17.3	6.5	45.8	10.8
8. 死亡退所	55.8	60.2	37.5	41.2	24.2	51.4
9. その他	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0

\* 上記の「9. 死亡退所」について、直接の死亡原因は何ですか。 ※ 1名につき1つの死亡原因  
 (2023年4月～6月までの3か月間)

(施設数)

	全体	I 型	II 型
死亡退所者数	1,289	1,120	169
1. 悪性新生物	93	77	16
2. 心疾患	138	119	19
3. 老衰	554	478	76
4. 脳血管疾患	101	90	11
5. 肺炎	191	176	15
6. その他	212	180	32

比率 (%)

	全体	I 型	II 型
死亡退所者数	1,289	1,120	169
1. 悪性新生物	7.2	6.9	9.5
2. 心疾患	10.7	10.6	11.2
3. 老衰	43.0	42.7	45.0
4. 脳血管疾患	7.8	8.0	6.5
5. 肺炎	14.8	15.7	8.9
6. その他	16.4	16.1	18.9

4. ターミナルケアカンファレンス（意思確認カンファレンス（仮称））について

（2023年4月～6月までの3か月間）

(1) ターミナルケアに係る計画を作成するための入所者・家族等の同意を得るためのカンファレンスの開催  
介護医療院の「施設基準」に合ったカンファレンスの開催

（n=184施設）

	全体	I型	II型
回答施設数	184	134	50
開催施設数	161	126	35
開催延べ回数	2,810	2,476	334

(2) 上記(1)のうち、本人が参加し、意思を表明した「本来のACP・人生会議」カンファレンスの開催

	全体	I型	II型
開催施設数	17	15	2
開催延べ回数	175	170	5

\* 意思確認カンファレンスの開催（2023年4月～6月までの3か月間）（n=184施設）

	開催施設数	開催延べ回数(例数)	
①介護医療院の「施設基準」に合ったカンファレンス	161	2,810	
①のうち、本人が参加し、意思を表明したカンファレンス(ACP)	17	175	6.2%
①のうち、介護医療院入所前にACPを実施していた例	33	206	7.3%
①のうち、介護医療院入所前に事前指示書を持参していた例	29	225	8.0%

※①には、本人の参加、不参加どちらも含む。本人の意思がはっきりしない場合は、家族、書面（事前指示書）、職員、代理人（家族以外の第三者）で意思を想定したものをカウントする。

5. 入所者の要介護度について（2023年7月1日現在の状態）（n=183施設）

（施設数）

	全体	I型	II型
回答入所者数	11,279	9,266	2,013
要介護5	5,048	4,234	814
要介護4	4,556	3,727	829
要介護3	992	847	145
要介護2	383	238	145
要介護1	198	129	69
申請・区分変更等、未確定	102	91	11

比率（%）

	全体	I型	II型
回答入所者数	11,279	9,266	2,013
要介護5	44.8	45.7	40.4
要介護4	40.4	40.2	41.2
要介護3	8.8	9.1	7.2
要介護2	3.4	2.6	7.2
要介護1	1.8	1.4	3.4
申請・区分変更等、未確定	0.9	1.0	0.5

\* 平均要介護度

	全体	I型	II型
平均要介護度	4.24	4.28	4.09

6. 2023年5月の介護保険算定単価（1人/日）（n=140施設）

※月の入所に関する介護保険収入を入所者延べ数で除した金額

	全体	I型	II型
回答施設数	140	106	34
介護保険算定単価（1人/日）	14,622	15,098	13,139

7 (1) . 各種加算の算定状況について (2023 年 5 月現在) (n=184 施設)

	算定 施設数	回答施設に 占める 比率 (%)	算定施設における 件数 (平均) (100 床換算)	算定施設における 延べ回数 (平均) (100 床換算)
1. 夜勤職員基準の区分による加算	102	55.4	96	2,990
2. 若年性認知症患者受入加算	2	1.1	1	45
3. 身体拘束廃止未実施減算	1	0.5	100	2,967
4. 他科受診時費用	85	46.2	5	6
5. 初期加算	154	83.7	10	152
6. 再入所時栄養連携加算	0	0.0	—	—
7. 退所前訪問指導加算	3	1.6	1	1
8. 退所後訪問指導加算	1	0.5	5	5
9. 退所時指導加算	15	8.2	2	2
10. 退所時情報提供加算	19	10.3	2	2
11. 退所前連携加算	2	1.1	2	4
12. 訪問看護指示加算	2	1.1	1	1
13. 栄養マネジメント強化加算	78	42.4	98	2,887
14. 経口移行加算	22	12.0	4	112
15. 経口維持加算 I	92	50.0	26	26
16-1. 口腔衛生管理加算 I	22	12.0	43	43
16-2. 口腔衛生管理加算 II	45	24.5	73	74
17. 療養食加算	156	84.8	24	1,754
18. 在宅復帰支援機能加算	3	1.6	119	3,077
19. 緊急時施設診療費	31	16.8	5	12
20-1. 認知症専門ケア加算 I	14	7.6	83	2,464
20-2. 認知症専門ケア加算 II	2	1.1	47	1,790
21. 認知症行動・心理症状緊急対応加算	0	0.0	—	—
22. 重度認知症疾患療養体制加算	3	1.6	100	2,749
23. 長期療養生活移行加算	3	1.6	4	74
24-1. 排せつ支援加算 I	55	29.9	95	96
24-2. 排せつ支援加算 II	15	8.2	9	9
24-3. 排せつ支援加算 III	7	3.8	5	5
25. サービス提供体制強化加算 I	79	42.9	97	2,780
26. 自立支援促進加算	39	21.2	95	95
27. 安全対策体制加算	96	52.2	7	8
28-1. 科学的介護推進体制加算 I	30	16.3	94	94
28-2. 科学的介護推進体制加算 II	83	45.1	98	98

7 (2) .LIFE の活用が要件として含まれる加算の算定状況について (2023 年 5 月現在) (n=184 施設)

	算定 施設数	回答施設 に占める 比率 (%)	算定施設における 件数(平均) (100 床換算)	算定施設における 延べ回数(平均) (100 床換算)
1-1. 科学的介護推進体制加算 I	31	16.8	95	95
1-2. 科学的介護推進体制加算 II	85	46.2	98	98
2. 理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	61	33.2	88	88
3. 褥瘡対策指導管理 II ( I は LIFE 提出不要)	80	43.5	87	87
4-1. 排泄支援加算 I	56	30.4	95	95
4-2. 排泄支援加算 II	16	8.7	14	14
4-3. 排泄支援加算 III	7	3.8	5	5
5. 自立支援促進加算	42	22.8	96	96
6. 薬剤管理指導	20	10.9	33	33
7. 栄養マネジメント強化加算	69	37.5	98	2,878
8. 口腔衛生管理加算 II	49	26.6	69	69

8. 「自立支援促進に関する評価・支援計画書」における「尊厳の保持に資する取り組み」の実施状況について

(施設数)

	回答 施設数	5.よくでき ている	4.できている	3.普通	2.あまりで きていない	1.できてい ない
1.身体拘束ゼロへの取り組み	177	64	69	39	5	0
2.手荒い介護をしない	176	63	89	23	1	0
3.生理現象を放置・我慢させない	177	44	87	44	2	0
4.子ども扱いしない	177	29	105	41	2	0
5.いじわるしない	177	88	73	16	0	0
6.プライバシーの保護	176	41	82	51	2	0
7.選挙権の行使	173	74	39	36	10	14
8.お金の管理	168	56	35	44	8	25
9.人生の最期の医療・ケアに本人が参加し、本人の意思を確認している(ACP)	175	11	23	43	54	44
10.本人が意思を表出できないときに、代理人を決めている	177	82	66	22	2	5
11.本人が参加できないので、家族や代理人と本人の意思を推測している	176	71	72	29	3	1

比率(%)

	回答 施設数	5.よくでき ている	4.できている	3.普通	2.あまりで きていない	1.できてい ない
1.身体拘束ゼロへの取り組み	177	36.2	39.0	22.0	2.8	0.0
2.手荒い介護をしない	176	35.8	50.6	13.1	0.6	0.0
3.生理現象を放置・我慢させない	177	24.9	49.2	24.9	1.1	0.0
4.子ども扱いしない	177	16.4	59.3	23.2	1.1	0.0
5.いじわるしない	177	49.7	41.2	9.0	0.0	0.0
6.プライバシーの保護	176	23.3	46.6	29.0	1.1	0.0
7.選挙権の行使	173	42.8	22.5	20.8	5.8	8.1
8.お金の管理	168	33.3	20.8	26.2	4.8	14.9
9.人生の最期の医療・ケアに本人が参加し、本人の意思を確認している(ACP)	175	6.3	13.1	24.6	30.9	25.1
10.本人が意思を表出できないときに、代理人を決めている	177	46.3	37.3	12.4	1.1	2.8
11.本人が参加できないので、家族や代理人と本人の意思を推測している	176	40.3	40.9	16.5	1.7	0.6

「尊厳の保持に資する取り組み」の実施状況 5段階評価

(施設数)

	回答施設数	5. よくできている	4. できている	3. 普通	2. あまりできていない	1. できていない	平均点
1. 身体拘束ゼロへの取り組み	177	64	69	39	5	0	4.1
2. 手荒い介護をしない	176	63	89	23	1	0	4.2
3. 生理現象を放置・我慢させない	177	44	87	44	2	0	4.0
4. 子ども扱いしない	177	29	105	41	2	0	3.9
5. いじわるしない	177	88	73	16	0	0	4.4
6. プライバシーの保護	176	41	82	51	2	0	3.9
7. 選挙権の行使	173	74	39	36	10	14	3.9
8. お金の管理	168	56	35	44	8	25	3.5
9. 人生の最期の医療・ケアに本人が参加し、本人の意思を確認している (ACP)	175	11	23	43	54	44	2.4
10. 本人が意思を表出できないときに、代理人を決めている	177	82	66	22	2	5	4.2
11. 本人が参加できないので、家族や代理人と本人の意思を推測している	176	71	72	29	3	1	4.2

比率 (%)

	回答施設数	5. よくできている	4. できている	3. 普通	2. あまりできていない	1. できていない	平均点
1. 身体拘束ゼロへの取り組み	177	36.2	39.0	22.0	2.8	0.0	4.1
2. 手荒い介護をしない	176	35.8	65.4	16.9	0.7	0.0	4.2
3. 生理現象を放置・我慢させない	177	24.9	49.2	24.9	1.1	0.0	4.0
4. 子ども扱いしない	177	16.4	59.3	23.2	1.1	0.0	3.9
5. いじわるしない	177	49.7	41.2	9.0	0.0	0.0	4.4
6. プライバシーの保護	176	23.3	46.6	29.0	1.1	0.0	3.9
7. 選挙権の行使	173	42.8	22.5	20.8	5.8	8.1	3.9
8. お金の管理	168	33.3	20.8	26.2	4.8	14.9	3.5
9. 人生の最期の医療・ケアに本人が参加し、本人の意思を確認している (ACP)	175	6.3	13.1	24.6	30.9	25.1	2.4
10. 本人が意思を表出できないときに、代理人を決めている	177	46.3	37.3	12.4	1.1	2.8	4.2
11. 本人が参加できないので、家族や代理人と本人の意思を推測している	176	40.3	40.9	16.5	1.7	0.6	4.2

\* 身体拘束について、2023年4月から6月までの3か月間の実施（n=184施設）

	実施施設数	回答施設に占める 比率（%）	実施施設における 平均実施件数 （100床換算）
身体拘束の実施	113	61.4	23

\* 身体拘束の主な理由（複数回答可）

	施設数	比率（%）
1. 経鼻栄養等チューブトラブル防止	102	90.3
2. 転倒・転落防止	68	60.2
3. その他	49	43.4

9. 2023年5月に請求した特別診療費の取得状況について（n=184施設）

	算定 施設数	回答施設 に占める 比率（%）	算定施設における 件数（平均） （100床換算）	算定施設における 延べ回数（平均） （100床換算）
1. 感染対策指導管理	154	83.7	98	2,859
2. 褥瘡対策指導管理	158	85.9	94	2,797
3. 初期入所診療管理	82	44.6	5	5
4. 重度療養管理	0	0.0	—	—
5. 特定施設管理	0	0.0	—	—
6. 重症皮膚潰瘍管理指導	10	5.4	4	84
7. 薬剤管理指導	31	16.8	51	156
8. 医学情報提供	28	15.2	3	3
9. a. 理学療法	148	80.4	76	598
b. 理学減算	92	50.0	36	284
10. a. 作業療法	100	54.3	70	468
b. 作業減算	57	31.0	23	123
11. a. 言語聴覚療法	74	40.2	45	322
b. 言語聴覚減算	38	20.7	24	159
12. 集団コミュニケーション療法	5	2.7	44	369
13. 摂食機能療法	83	45.1	28	95
14. 短期集中リハビリテーション	90	48.9	17	226
15. 認知症短期集中リハビリテーション	25	13.6	13	107
16. 精神科作業療法	8	4.3	67	642
17. 認知症入所精神療法	4	2.2	14	44

10. 介護医療院の請求について、2022年度に国民健康保険団体連合会から査定をされたことがありますか。

(n=174施設)

	施設数	比率 (%)
1. ある	33	19.0
2. ない	128	73.6
3. わからない	13	7.5

\* 査定された項目：理学療法：9件

言語聴覚療法：7件

作業療法：4件

短期集中リハビリテーション：3件

摂食機能療法：2件

緊急時治療管理：1件

作業減算：1件

褥瘡対策指導管理：1件

診療情報提供料：1件

他科受診：1件

負担限度額相違：1件

理学減算：1件

理学療法士等体制強化加算：1件

1 1. 医療行為等の現状・実施について、2023年4月から6月までの3か月間に実施した件数（1）

回答施設数：全体 184 施設（I 型 134 施設、II 型 50 施設）

	上段：実施している施設の比率（％）		
	下段：実施例数の平均（100床換算）		
	全体	I 型	II 型
1. 他院外来受診数	60.9	55.2	76.0
	13	7	24
2. 他病棟、他病院への緊急入院もしくは救急搬送数	47.3	46.3	50.0
	5	5	8
3. 末期がん患者の受け入れ（緩和目的）	21.2	23.1	16.0
	4	4	3
4. 抗生剤末梢点滴治療（肺炎、尿路感染等）	73.9	76.1	68.0
	24	27	16
5. 脱水・熱中症等に対する末梢補液点滴治療	54.3	60.4	38.0
	30	34	16
6. 中心静脈ライン	22.3	24.6	16.0
	9	10	5
7. その他点滴治療	62.5	59.7	70.0
	18	20	15
8. インスリン投与	65.2	66.4	62.0
	8	8	8
9. 褥瘡・創傷治療	69.0	70.9	64.0
	12	11	15
10. 酸素投与	83.2	82.1	86.0
	16	17	14
11. 気管切開のケア	17.9	18.7	16.0
	4	5	4
12. 経鼻経管、胃ろうによる栄養投与・交換	88.6	87.3	92.0
	58	65	39
13. 歯科治療	66.3	65.7	68.0
	29	30	27
14. 持続モニター	63.0	71.6	40.0
	15	16	10
15. 膀胱カテーテル管理	83.7	81.3	90.0
	21	22	20

1 1. 医療行為等の現状・実施について、2023年4月から6月までの3か月間に実施した件数（2）

回答施設数：全体 184 施設（I 型 134 施設、II 型 50 施設）

	上段：実施している施設の比率（％）		
	下段：実施例数の平均（100床換算）		
	全体	I 型	II 型
16. 人工肛門管理	35.3	37.3	30.0
	3	3	4
17. 麻薬による疼痛ケア	10.3	7.6	10.0
	3	3	3
18. 抗がん剤投与（経口、点滴含む）	8.2	7.5	10.0
	3	3	2
19. 新型コロナ治療薬	4.9	5.2	4.0
	9	7	14
20. 単純レントゲン撮影、透視	80.4	82.1	76.0
	52	54	48
21. 超音波検査、内視鏡検査	28.8	28.4	30.0
	8	7	10
22. CT scan MRI	65.2	72.4	46.0
	26	27	21
23. 血液検査	83.2	83.6	82.0
	94	94	93
うち、定期的な血液検査	77.8	76.8	80.5
	60	58	66
24. その他	4.9	3.7	8.0
	30	38	15

1 2. 現場で苦労していることについて（複数回答）（n=176 施設）

	施設数	比率（%）
1. 生活施設としての環境整備	62	35. 2
2. 自宅としての入所者への対応	46	26. 1
3. 抑制ゼロ対策	108	61. 4
4. 介護保険書類の煩雑さ	41	23. 3
5. 事故届け出の基準、書類の煩雑さ	21	11. 9
6. 看護師確保	93	52. 8
7. 介護職確保	131	74. 4
8. ケアマネジャー確保	52	29. 5
9. 医師確保	23	13. 1
10. 入所者確保	36	20. 5
11. 介護職処遇改善加算に関して	31	17. 6
12. 医療行為がやりにくい	25	14. 2
13. 急性期への転院希望がある	13	7. 4
14. ターミナルの意識	47	26. 7
15. 利用者・家族の介護医療院への理解	34	19. 3
16. 地域との交流・地域貢献	101	57. 4

1 3. 介護医療院の入所者における新型コロナウイルス感染症について

2020 年 1 月から 2023 年 6 月末までの新型コロナウイルス感染状況

（複数回答）（n=180 施設）

	施設数	比率（%）
1. 陽性者は出なかった	37	20. 6
2. 陽性者は出たが、当日別病院へ転院した	20	11. 1
3. 陽性者は出たが、当日同施設の病棟へ転棟した	30	16. 7
4. 陽性者が出て介護医療院内でしばらく隔離治療した	130	72. 2
5. 新型コロナウイルス感染症関連の死亡者が出た	47	26. 1
6. ポストコロナ患者（下り患者）を受け入れた	20	11. 1
7. その他	5	2. 8

#### 1.4. 介護職員に対する処遇改善加算について

(1) 介護職員処遇改善加算の支給を受けていますか。(n=183 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 受けている	156	85.2
2. 受けていない	27	14.8

(2) 介護職員等特定処遇改善加算（技能・経験のある職員にさらに加算する）の支給を受けていますか。  
(n=182 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 受けている	103	56.6
2. 受けていない	79	43.4

(3) 上記(1)(2)いずれかの加算の支給を受けている事業所にお伺いします。

2022年2月に開始された「介護職員処遇改善支援補助金」を受けていますか。(n=161 施設)

(「介護職員処遇改善支援補助金」は、上記(1)(2)のいずれかを取得している事業所が対象)

	施設数	比率 (%)
1. 受けている	120	74.5
2. 受けていない	41	25.5

(4) 上記(1)(2)(3)いずれかの加算の支給を受けている事業所にお伺いします。

介護施設ではない併設病院病床の看護助手、介護職員に対して処遇改善を実施していますか。

(n=152 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 実施している	97	63.8
2. 実施していない	32	21.1
3. 病院は併設されていない	23	15.1

\* 介護施設ではない併設病院病床の看護助手、介護職員に対して処遇改善を実施している場合、その財源は何ですか。(複数回答)(n=95 施設)

	施設数	比率 (%)
a. 病院持ち出し	85	89.5
b. 看護補助加算	10	10.5
c. その他	11	11.6

(5) 上記(1)(2)(3)で「受けていない」と回答した事業所にお伺いします。

その理由は何ですか。(n=26施設)

	施設数	比率 (%)
1. 併設の病院の看護補助者と不公平になるから	19	73.1
2. 介護職のみの処遇改善は必要ではない、もしくはおかしい	0	0.0
3. 処遇改善加算の制度に反対、納得できない	0	0.0
4. 今まで加算を取得していないので、今回は受けられない	1	3.8
5. その他	6	23.1

15. 2021年度の介護報酬改定によるLIFEの影響について

(1) LIFEの届け出について (n=182施設)

	施設数	比率 (%)
1. LIFEの届け出をしている	135	74.2
2. LIFEの届け出の準備をしている	15	8.2
3. LIFEの届け出をする予定はない	12	6.6
4. 未定	20	11.0

(2) LIFEは役立っていますか (n=132施設)

	施設数	比率 (%)
1. 役に立っている	20	15.2
2. 役に立っていない	24	18.2
3. どちらともいえない	88	66.7

16. 介護医療院に看護師特定行為研修の修了者は在籍していますか (n=182施設)

	施設数	比率 (%)
1. 在籍している	10	5.5
2. 在籍していない	163	89.6
3. 以前は在籍していた	2	1.1
4. 今後配置する予定	7	3.8

17. 介護医療院の直接の管理者の職種について (複数回答) (n=181施設)

※届出上の管理者ではなく、勤務表の作成等を行う現場の管理者

	施設数	比率 (%)
1. 医師	51	28.2
2. 特定行為研修を修了した看護師	1	0.6
3. 認定もしくは専門看護師	3	1.7
4. 上記以外の看護師	122	67.4
5. 介護福祉士	23	12.7
6. その他	17	9.4

## 18. 介護職不足について

(1) 介護職は充足していますか。(n=182 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 充足している	25	13.7
2. ギリギリである	86	47.3
3. 不足している	71	39.0

(2) 介護職員・看護職員に外国人を採用していますか。(n=176 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 外国人を採用している	66	37.5
2. 外国人を採用していない	101	57.4
3. 外国人を採用する予定はある・採用を考えている	9	5.1

\* 採用している外国人の看護職・介護職の人数

	人数	比率 (%)	
看護職	7	2.9	4 施設
介護職	235	97.1	64 施設
計	242	100.0	

\* 採用している外国人（看護職・介護職）の国籍（複数回答）(n=62 施設)

国籍	施設数	比率 (%)
フィリピン	25	40.3
ベトナム	20	32.3
ミャンマー	16	25.8
インドネシア	8	12.9
中国	6	9.7
ネパール	3	4.8
ペルー	2	3.2
モンゴル	2	3.2
インド	1	1.6
スリランカ	1	1.6
タイ	1	1.6
ブラジル	1	1.6

\* 採用している外国人の在留資格 (n=54 施設)

在留資格	人数	比率 (%)
特定技能	51	27.3
技能実習	52	27.8
EPA 介護福祉士	19	10.2
その他	65	34.8
計	187	100.0

(3) 介護職の業務改善に役立つもの (複数回答) (n=132 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 行政の書類削減	37	28.0
2. IT化	68	51.5
3. ロボット	61	46.2
4. タスクシフト/シェアリング	74	56.1
5. その他	30	22.7

19. 総合的な評価

(1) 介護医療院への移行（開設）は収益上よかったですか。（n=179 施設）

（施設数）

	全体	I 型	II 型
回答施設数	179	129	50
1. 移行前より収益が増えた	75	56	19
2. 変わらない	58	45	13
3. 移行前より収益が減った	22	9	13
4. わからない	24	19	5

比率（%）

	全体	I 型	II 型
回答施設数	179	129	50
1. 移行前より収益が増えた	41.9	43.4	38.0
2. 変わらない	32.4	34.9	26.0
3. 移行前より収益が減った	12.3	7.0	26.0
4. わからない	13.4	14.7	10.0

(2) 介護医療院単独での経営状況はいかがでしょうか。（n=177 施設）

（施設数）

	全体	I 型	II 型	
			うち、単独	
回答施設数	177	128	49	8
1. 介護医療院単独では黒字である	81	64	17	5
2. 介護医療院単独では赤字である	31	14	17	3
3. どちらともいえない	60	47	13	0
4. その他	5	3	2	0

比率（%）

	全体	I 型	II 型	
			うち、単独	
回答施設数	177	128	49	8
1. 介護医療院単独では黒字である	45.8	50.0	34.7	62.5
2. 介護医療院単独では赤字である	17.5	10.9	34.7	37.5
3. どちらともいえない	33.9	36.7	26.5	0.0
4. その他	2.8	2.3	4.1	0.0

(3) 介護医療院の開設は貴法人にとって総合的によかったですか。(n=182 施設)

(施設数)

	全体	I 型	II 型
回答施設数	182	132	50
1. よかった	125	93	32
2. 変わらない	28	21	7
3. 悪かった	2	0	2
4. わからない	27	18	9

比率 (%)

	全体	I 型	II 型
回答施設数	182	132	50
1. よかった	68.7	70.5	64.0
2. 変わらない	15.4	15.9	14.0
3. 悪かった	1.1	0.0	4.0
4. わからない	14.8	13.6	18.0

(4) 上記(3)の回答にかかわらず、介護医療院を開設して「よかった」と思われること  
(複数回答)(n=164施設)

(施設数)

	全体	I型	II型
回答施設数	164	118	46
1. 収益が増加した	49	36	13
2. 医療区分1の利用者の居場所ができた	69	49	20
3. 老健より医療行為がしやすい	47	33	14
4. 施設の将来像が見えた	21	14	7
5. 住まいとしての環境があるのがよい	38	28	10
6. 職員のモチベーションが上がった	15	12	3
7. 利用者のプライバシーが確保できた	36	28	8
8. 抑制をしないようになった	19	14	5
9. 介護療養病床・経過措置が廃止になる心配がなくなった	60	51	9
10. 助成金で改修、新築ができた	41	33	8
11. 移行支援加算がもらえた	72	56	16
12. 地域との交流、地域貢献ができた	10	9	1
13. 介護施設にも病院にも入ることができない方々の最後の砦となっている	94	65	29

比率(%)

	全体	I型	II型
回答施設数	164	118	46
1. 収益が増加した	29.9	30.5	28.3
2. 医療区分1の利用者の居場所ができた	42.1	41.5	43.5
3. 老健より医療行為がしやすい	28.7	28.0	30.4
4. 施設の将来像が見えた	12.8	11.9	15.2
5. 住まいとしての環境があるのがよい	23.2	23.7	21.7
6. 職員のモチベーションが上がった	9.1	10.2	6.5
7. 利用者のプライバシーが確保できた	22.0	23.7	17.4
8. 抑制をしないようになった	11.6	11.9	10.9
9. 介護療養病床・経過措置が廃止になる心配がなくなった	36.6	43.2	19.6
10. 助成金で改修、新築ができた	25.0	28.0	17.4
11. 移行支援加算がもらえた	43.9	47.5	34.8
12. 地域との交流、地域貢献ができた	6.1	7.6	2.2
13. 介護施設にも病院にも入ることができない方々の最後の砦となっている	57.3	55.1	63.0